

2008年3月期 第1四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2007年8月3日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆ 為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル及びイギリス・ポンドの相場変動
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆ トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆ タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(証券取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

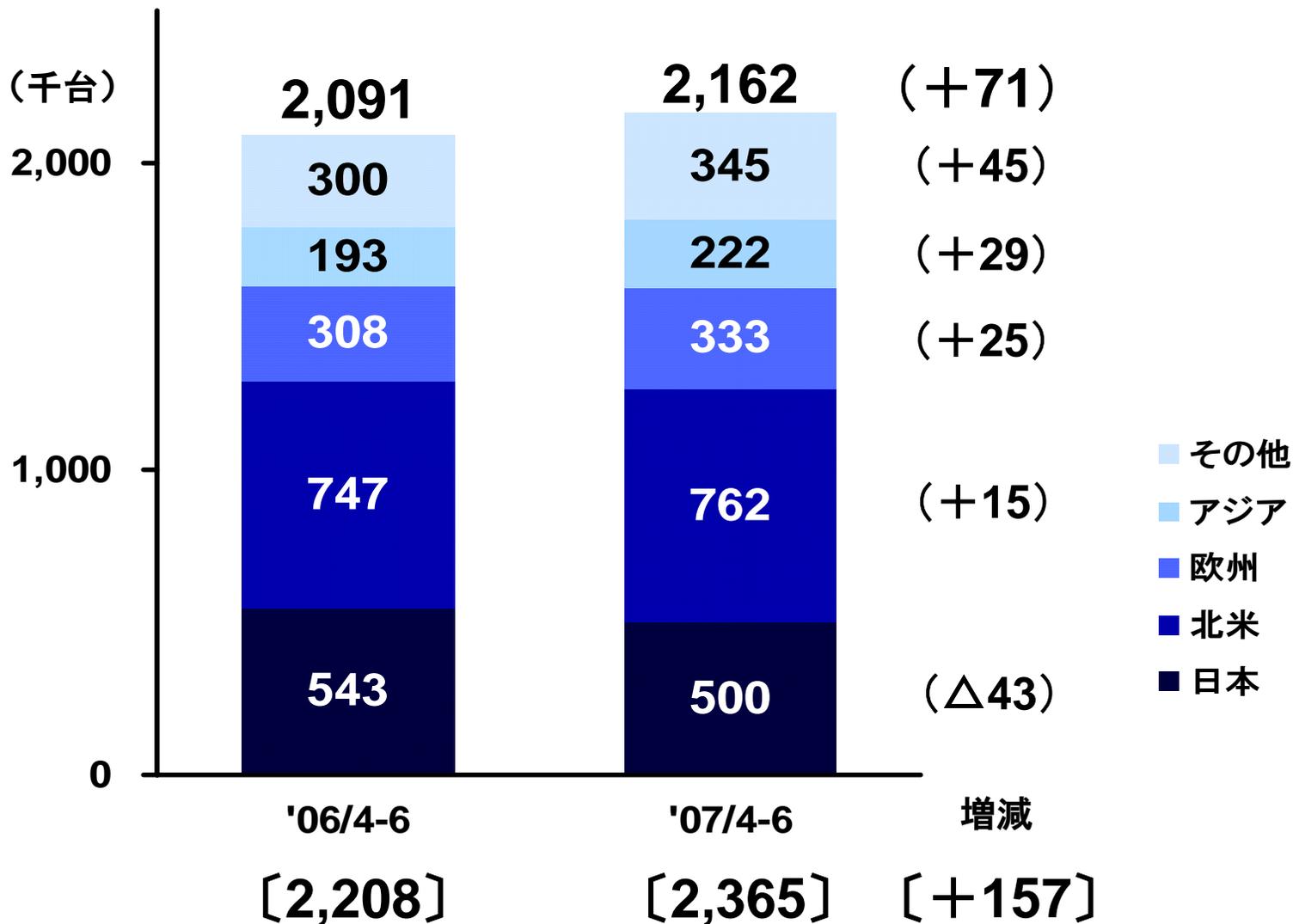
常務役員

伊地知 隆彦

2008年3月期 第1四半期

【実績】

連結販売台数

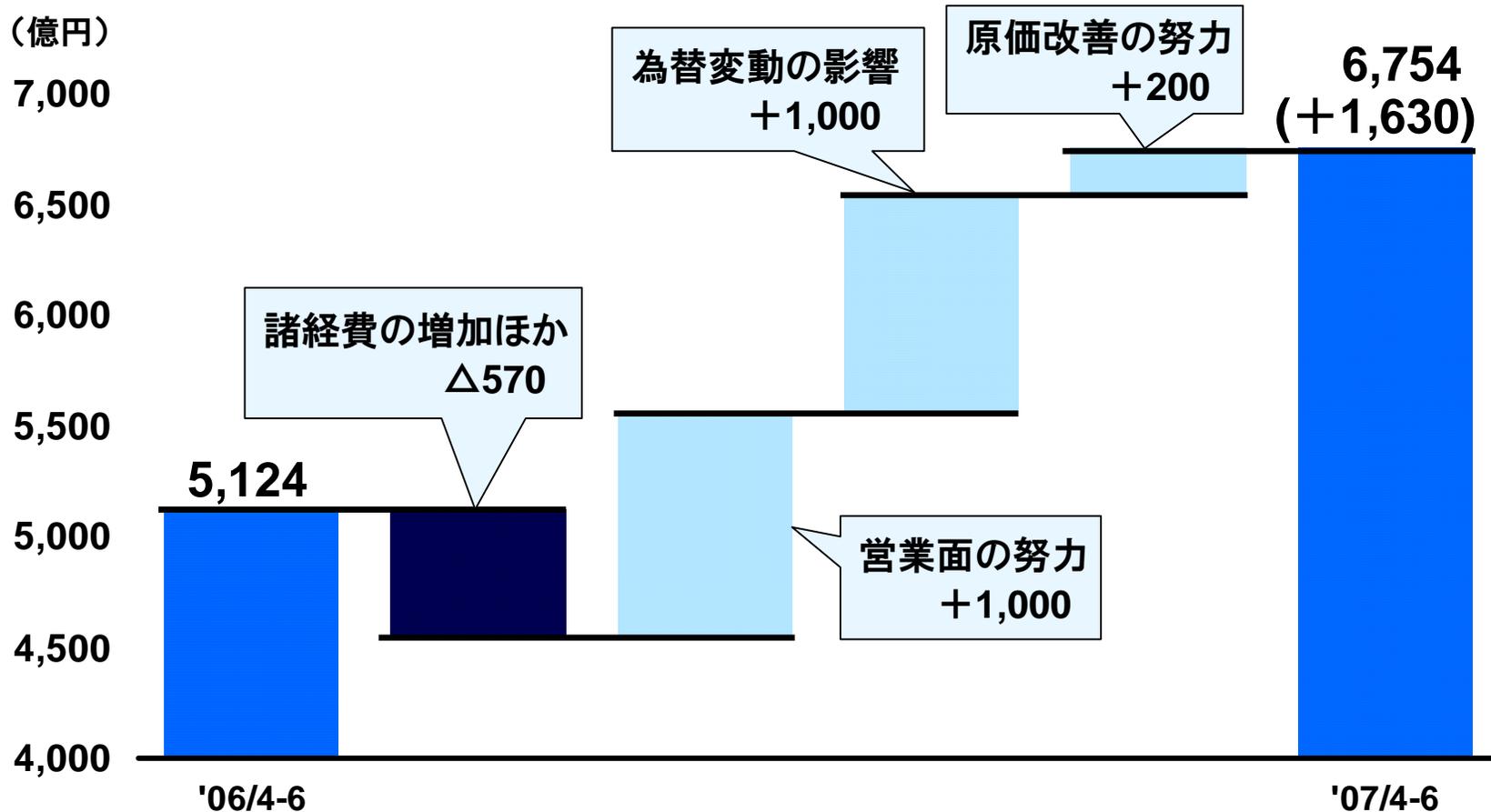


連結決算要約

(単位:億円)

	当第1四半期 ('07/4-6)	前年同期 ('06/4-6)	増 減	
売上高	65,226	56,381	8,845	15.7%
営業利益	6,754	5,124	1,630	31.8%
税金等調整前 当期純利益	7,390	5,546	1,844	33.2%
当期純利益	4,915	3,715	1,200	32.3%
為替レート	ドル 121円	115円	6円の円安	
	ユーロ 163円	144円	19円の円安	

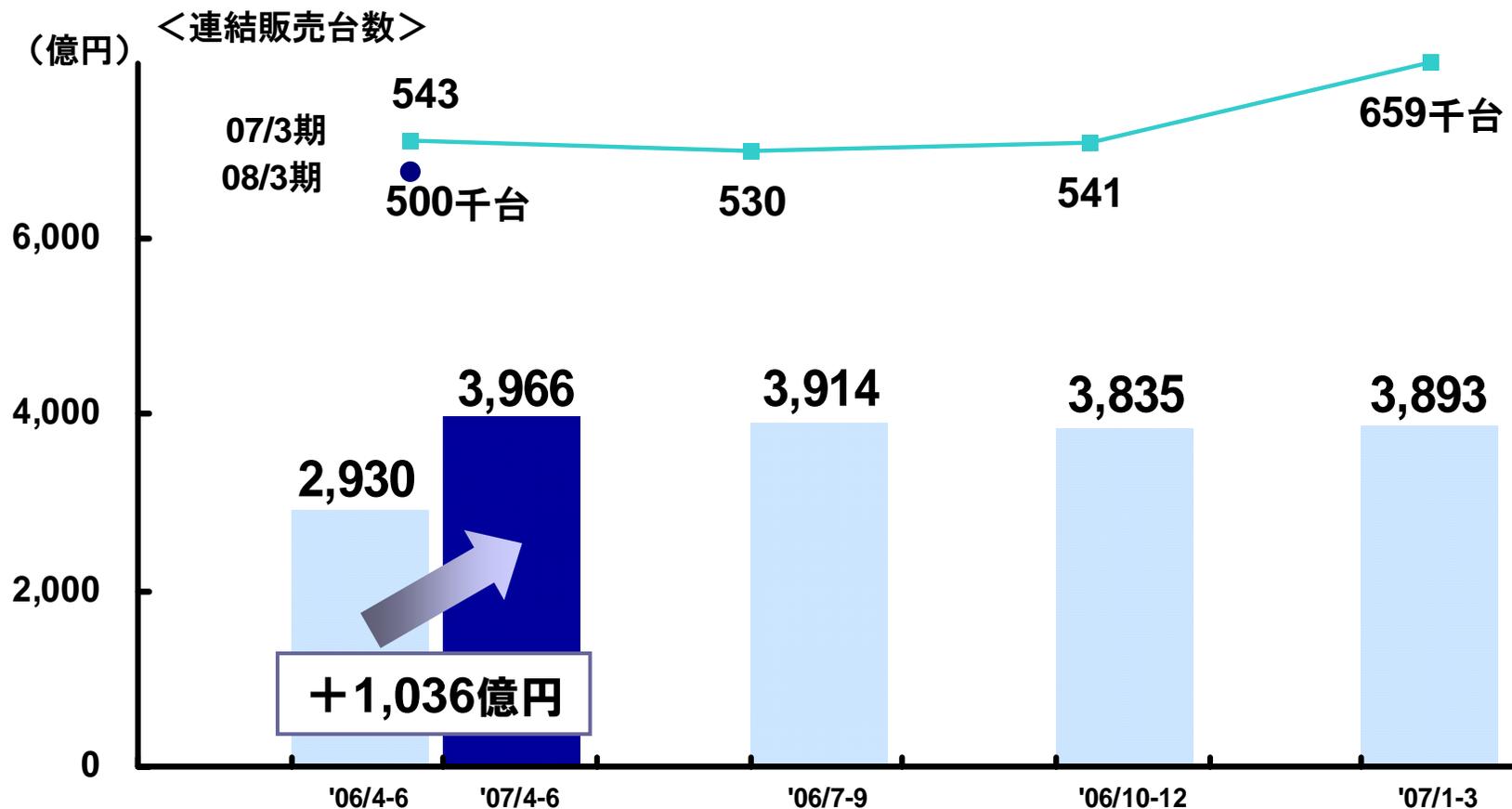
連結営業利益増減要因



<諸経費の増加ほか 内訳>

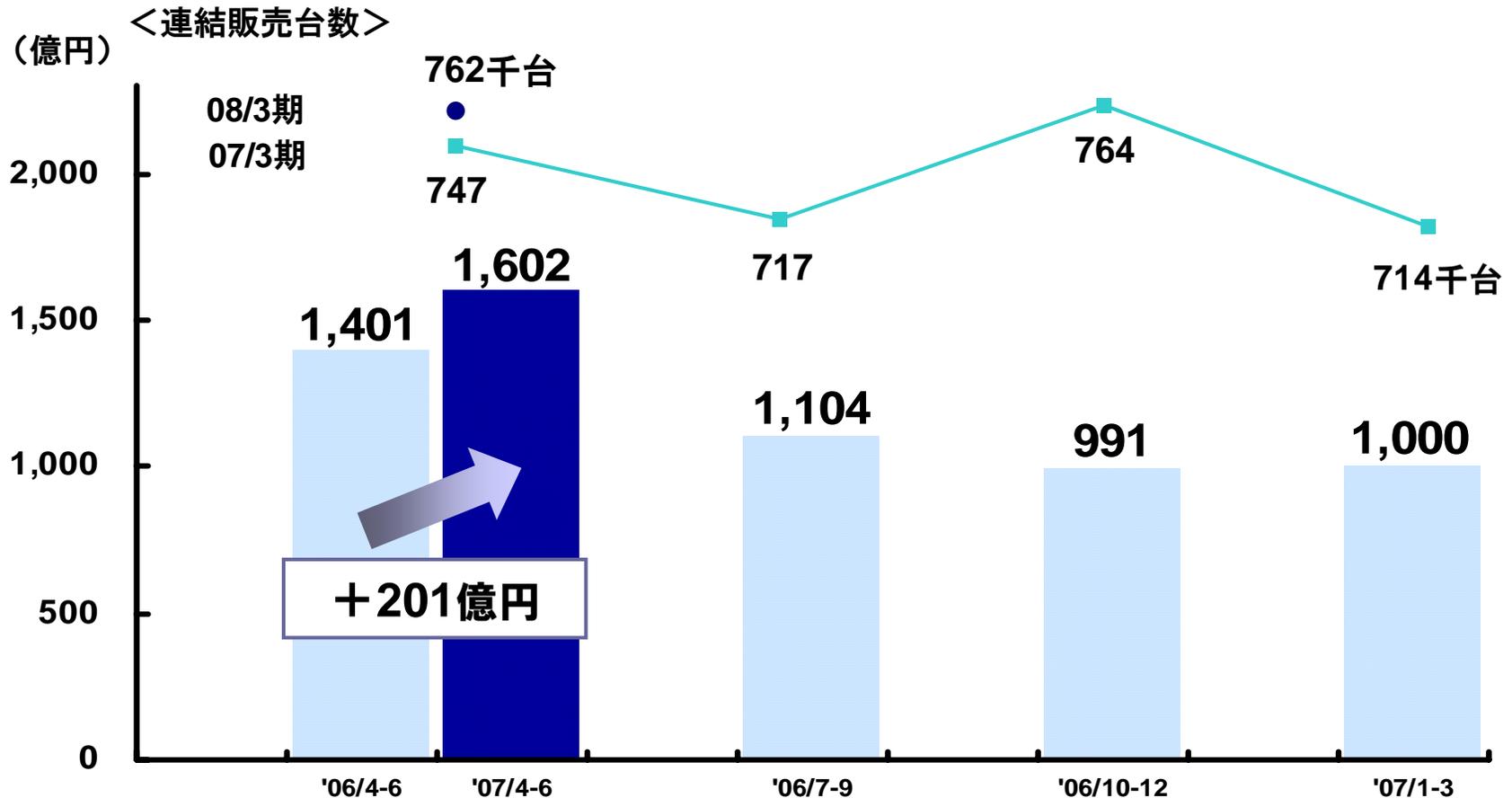
減価償却費および 設備関連費用	△215	金利スワップ評価損益 ...	△10
研究開発費の増加	△211	その他	△19
労務費の増加	△115		

所在地別営業利益：日本



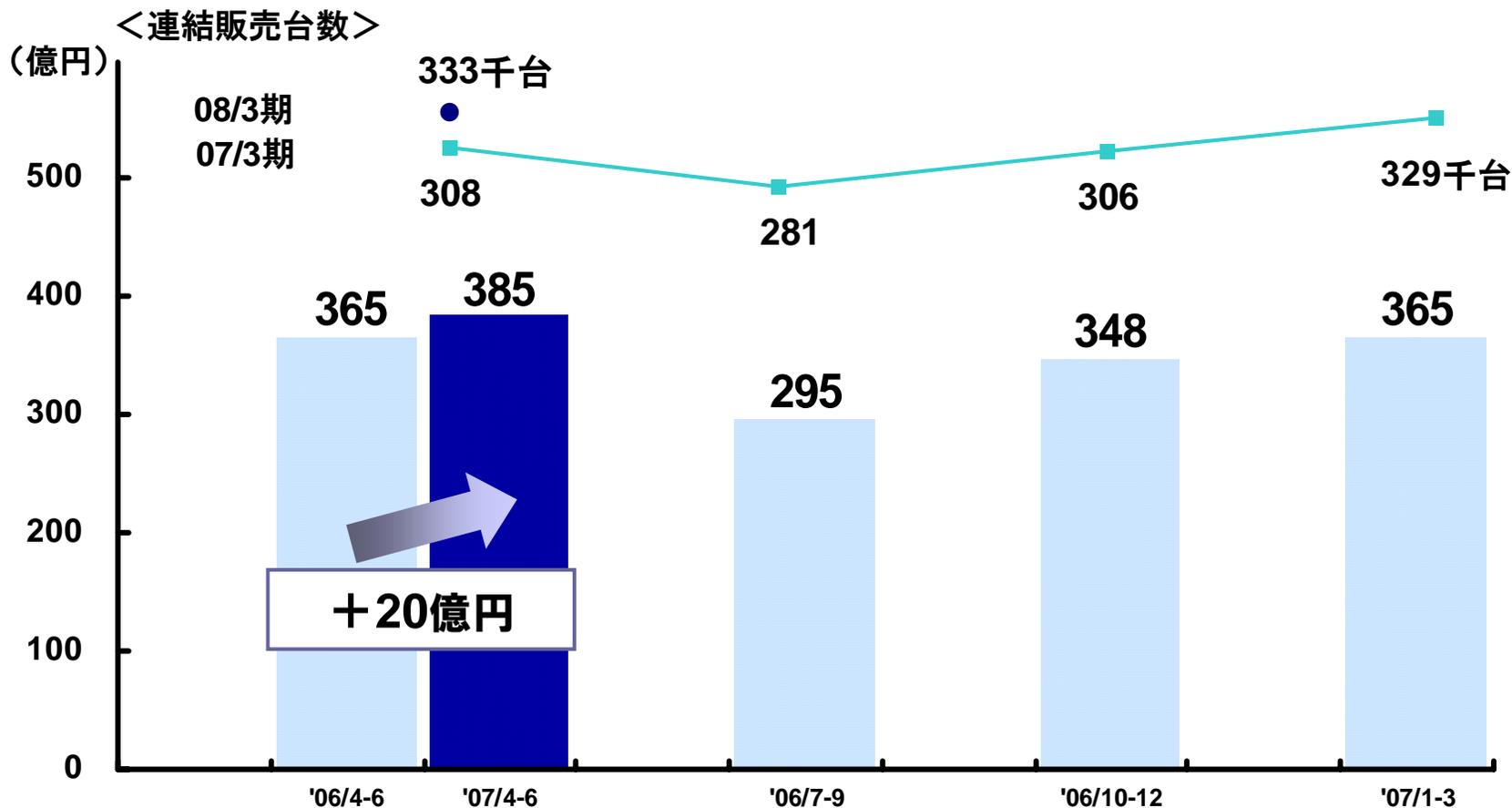
- ・輸出の伸びが増益に大きく寄与。
- ・レクサスLSの好調な販売などにより、車種構成が改善。

所在地別営業利益：北米



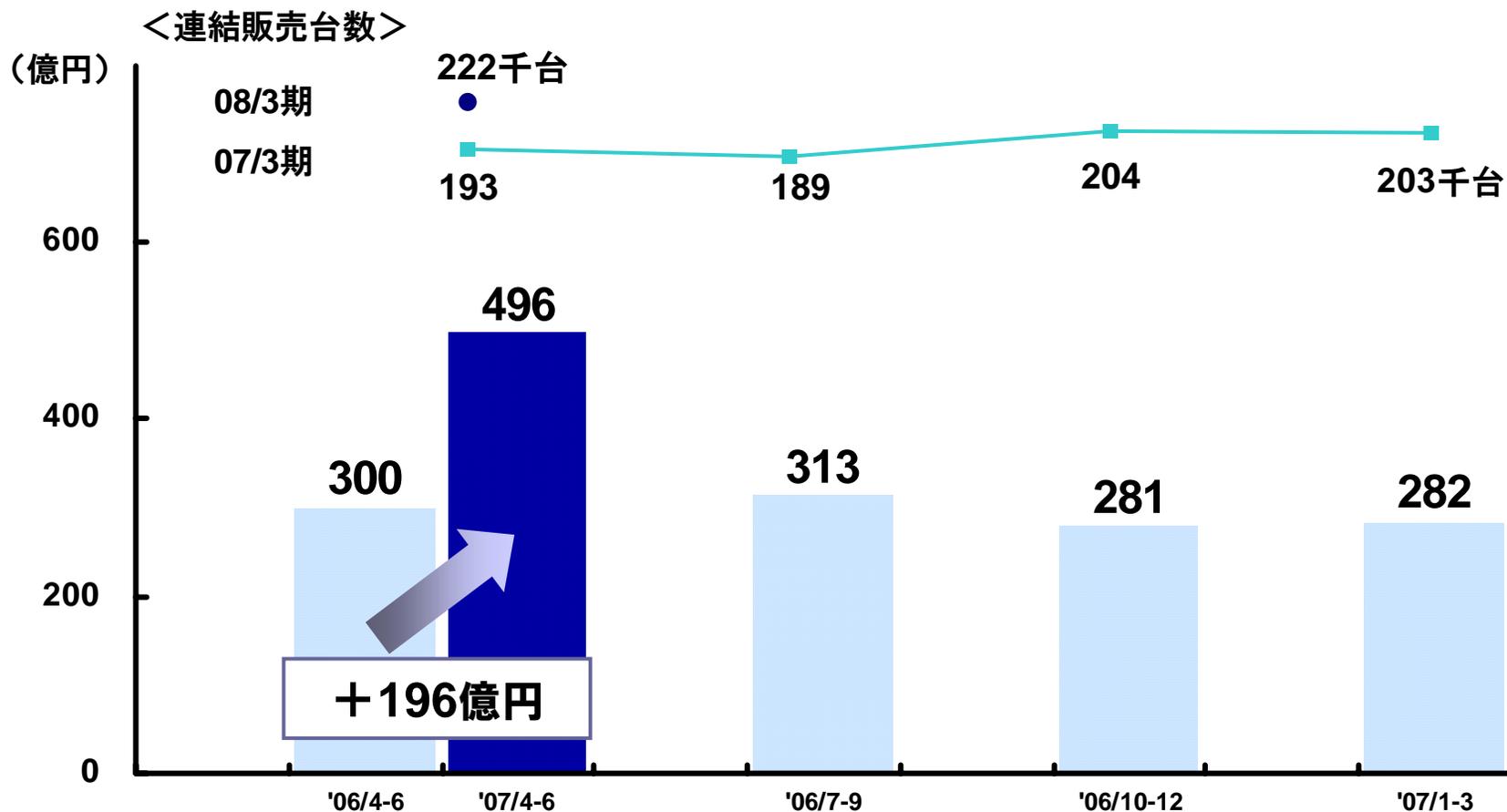
- ・新型車(タンドラ及びレクサスLS)・低燃費車を中心に、販売が好調。
- ・タンドラの販売台数増などにより、増益。

所在地別営業利益：欧州



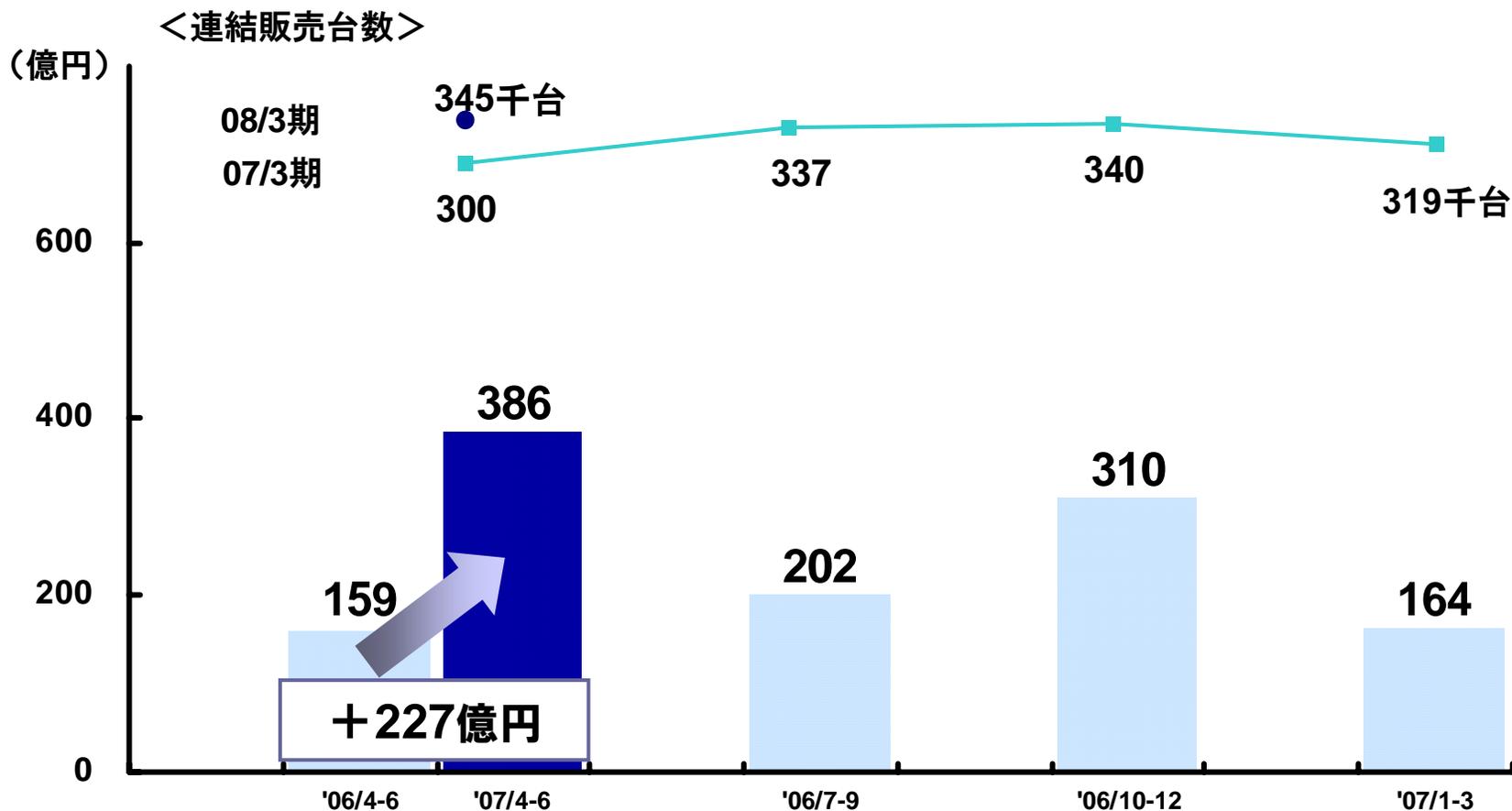
・オーリスの順調な立上げにより、増益トレンドを持続。

所在地別営業利益:アジア



- ・インドネシアを中心に、販売が好調に推移。
- ・中国事業の拡大に伴う中国子会社の収益増加により、増益。

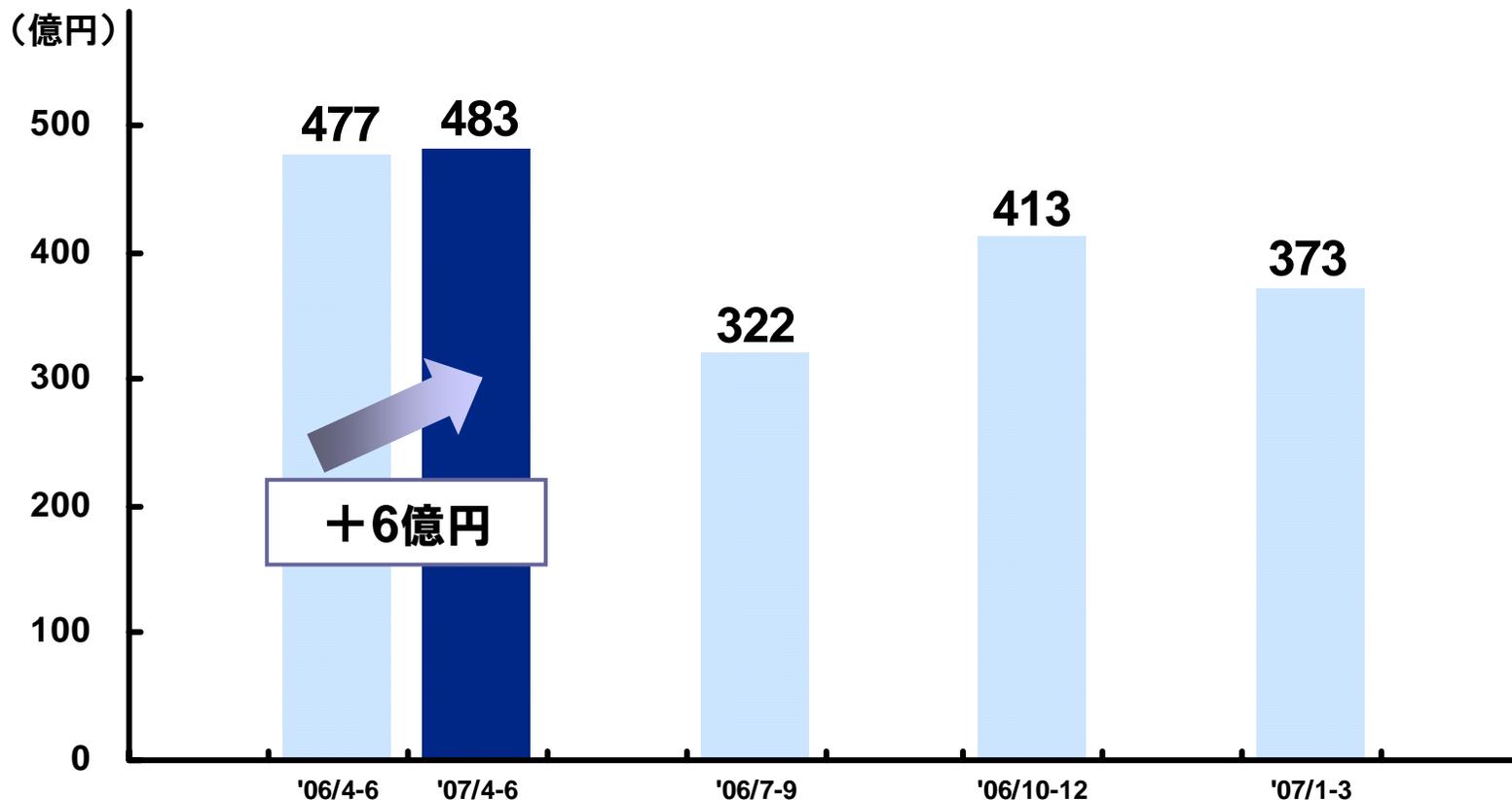
所在地別営業利益：その他地域



・全地域の販売が好調に推移し、大幅増益。

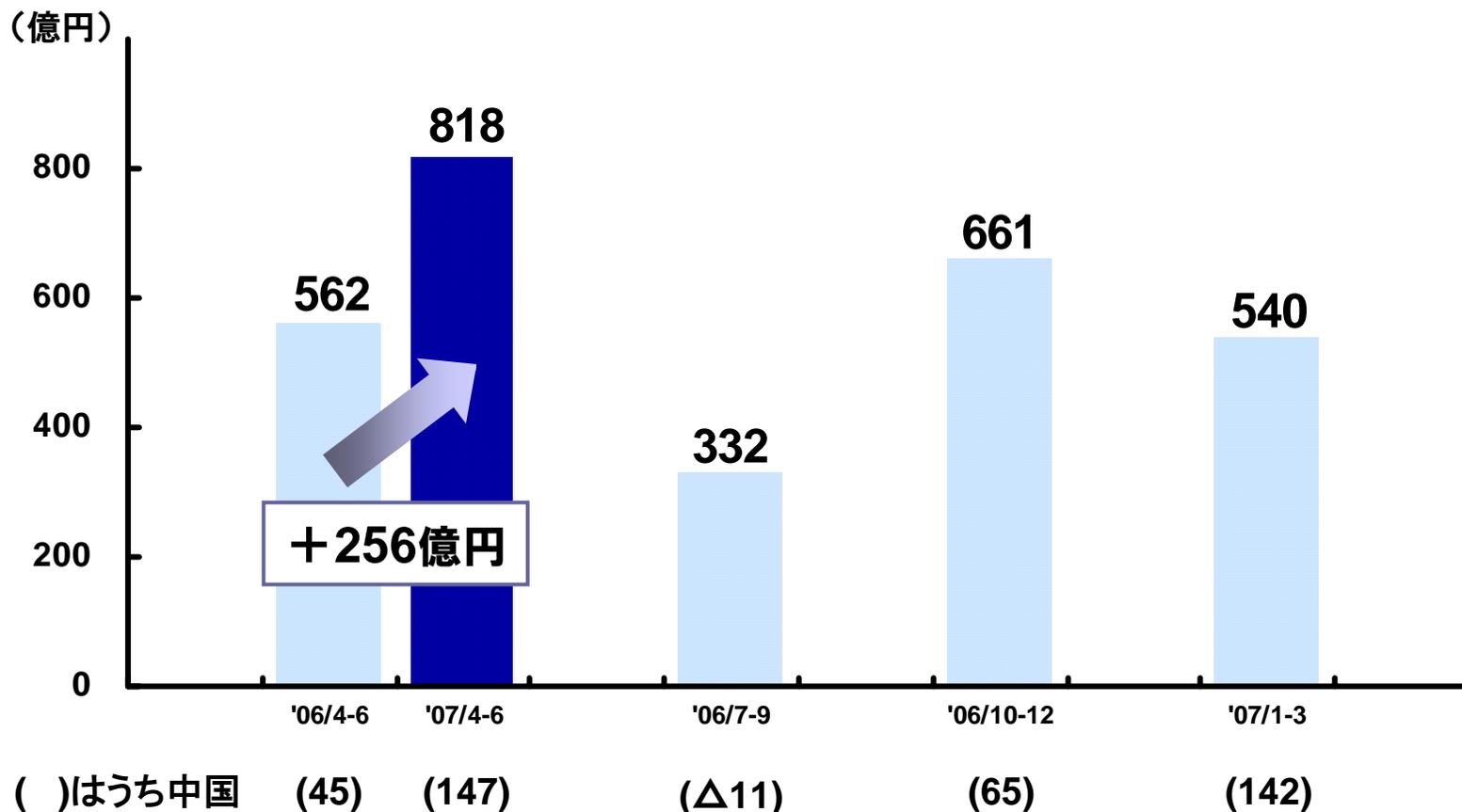
事業別セグメント：金融

＜営業利益＞



- ・融資残高の順調な伸びにより、増益。
- ・販売金融子会社の金利スワップ評価損益の影響： $\Delta 10$ 億円

持分法投資損益



・国内グループ会社・中国合弁会社を中心に、大幅増益を達成。

单独決算要約(日本基準)

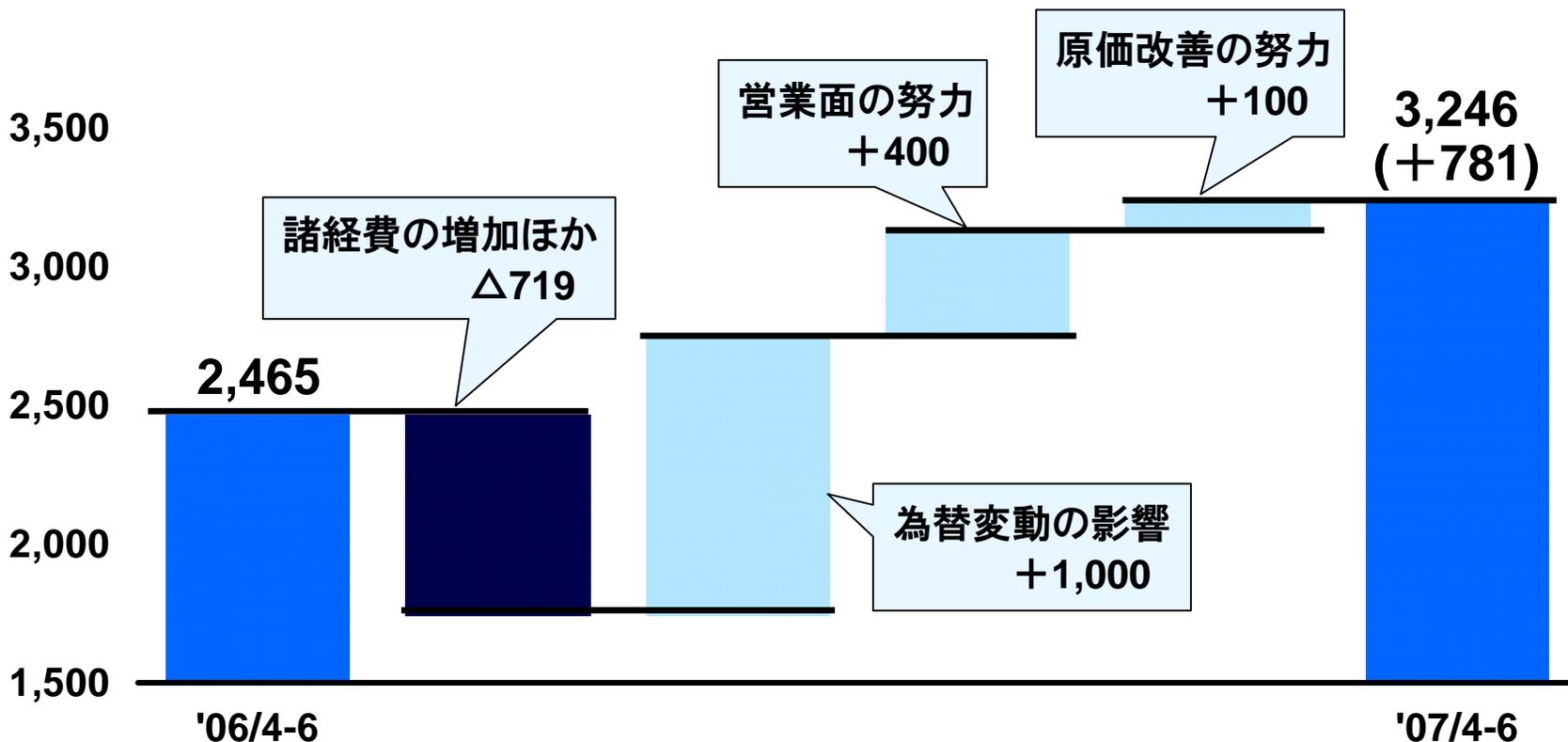
15

(単位:億円)

	当第1四半期 ('07/4-6)	前年同期 ('06/4-6)	増 減	
売上高	29,088	26,985	2,103	7.8%
営業利益	3,246	2,465	781	31.7%
経常利益	5,110	3,999	1,111	27.8%
当期純利益	3,615	2,776	839	30.2%

単独営業利益増減要因

(億円)



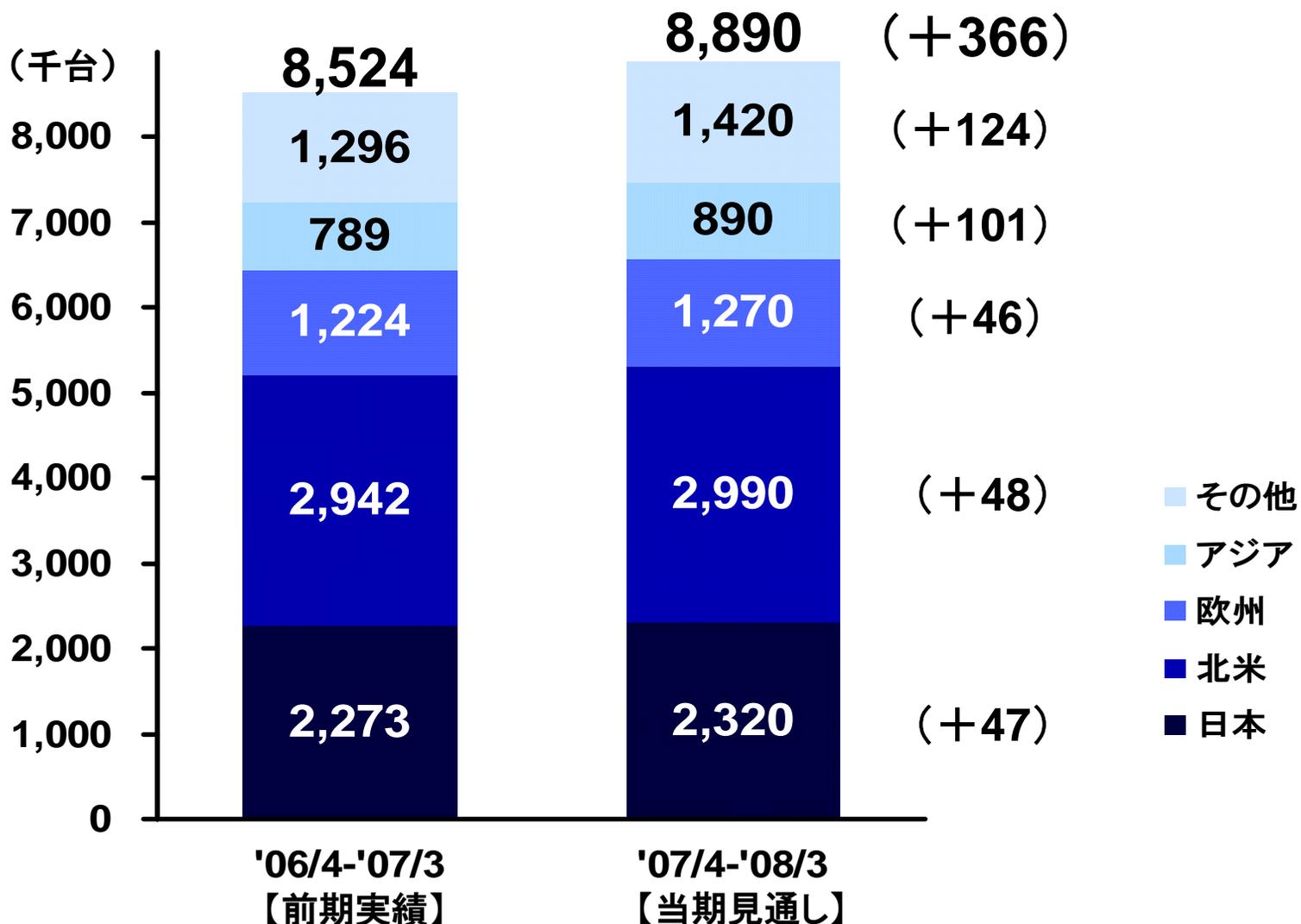
<諸経費の増加ほか 内訳>

研究開発費の増加	△130	その他	△516
減価償却費および 設備関連費用	△81		
労務費の減少	8		

2008年3月期 第1四半期

【通期見通し】

通期見通し：連結販売台数



()内は'06/4-'07/3実績からの増減

通期見通し: 連結決算

19

(単位: 億円)

	当期見通し ('07/4-'08/3)	前期実績 ('06/4-'07/3)	増 減	
売上高	250,000	239,480	10,520	4.4%
営業利益	22,500	22,386	114	0.5%
税金等調整前 当期純利益	24,000	23,825	175	0.7%
当期純利益	16,500	16,440	60	0.4%
為替レート	ドル 115円	117円	2円の円高	
	ユーロ 150円	150円	—	

通期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費

20

(単位：億円)

	設備投資	減価償却費	研究開発費
連結計	15,000 (+174)	10,200 (+730)	9,400 (+493)
日本	8,000 (△153)	6,300 (+375)	
北米	4,000 (+807)	1,900 (+247)	
欧州	1,100 (△97)	900 (+5)	
アジア	1,100 (△316)	650 (+31)	
その他	800 (△67)	450 (+72)	

()内は'06/4-'07/3実績からの増減

通期見通し: 単独決算

21

(単位: 億円)

	当期見通し ('07/4-'08/3)	前期実績 ('06/4-'07/3)	増 減	
売上高	117,000	115,718	1,282	1.1%
営業利益	11,000	11,509	△509	△4.4%
経常利益	15,900	15,551	349	2.2%
当期純利益	11,300	10,601	699	6.6%

通期見通し：台数等(トヨタ・レクサス)

22

		当期見通し ('07/4-'08/3)	前期実績 ('06/4-'07/3)
生産	国内	4,280 千台	4,185 千台
	海外	4,380	3,939
	合計	8,660	8,124
国内販売		1,720	1,659
輸出		2,590	2,597
海外現地販売		6,900	6,443
住宅		5,200 戸	5,001 戸

2008年3月期 第1四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2007年8月3日